

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

国語（話すこと・聞くこと）

【発表のくふうを考える問題／話の中心をとらえる問題】

1 あおいさんのクラスではスーパーマーケットの店長さんから話を聞き、家の人に向けて発表会を行います。あおいさんのまとめた【店長さんの話】と【発表原こう】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【店長さんの話】

A

お店では、やく百三十人の人がはたらいています。品ものをならべる仕事、レジをうつ仕事、そうざいを作る仕事など、他にもたくさんの仕事をあつて、分たんしています。

〈かんきょう問題への取り組み〉

お店には、リサイクルステーションをおいて、かんやペットボトル、トレーなどの回しゅうをしています。また、家から買い物ぶくろを持ってきたら、家に買い物ぶくろを使わないようないき組みもしています。

〈品物について〉

お店には、いつもたくさん品物ならべてあるようにします。たくさんならべるだけでなく、いつも新せんなものをおいたり、買いやすいように小分けにしたりしています。

【発表原こう】

みなさんは、スーパーマーケットに、どんなくふうがあるか知っていますか。わたしは、社会科見学でスーパーマーケットに行き、店長さんからお話を聞きました。

お店には、毎日たくさんのおきやくさんが来ます。そのため、売場にはたくさん品物がならべられています。品物は、新せんなものがならぶように気をつけているそうです。

品物をならべる他にも仕事はたくさんあつて、レジをうつたり、そうざいを作ったりするそうです。

また、お店にはリサイクルステーションがあつて、空きかんやペットボトル、トレーなどを回しゅうしています。かんきょうを考えて、買い物ぶくろを持ってきたらもうようにおねがいしているそうです。

スーパーマーケットには、お客さんのためにも、かんきょうのためにも、いろいろなくふうがあることがわかりました。

※そうざい…ごはんなどにそえる、おかずのこと。

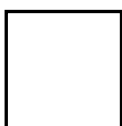
① 聞いている人によくつたわるように、【発表原こう】ではどのようにふうをしていますか。次からえらび、番号を書きましょう。レベル7

1 しりょうを見せて、わかりやすくつたえている。

2 店長さんの話の中からつたえたいことを一つにしぼって、くわしく書いている。

3 問いかけから始めて、聞き手のきょう味を引いている。

4 自分の感想を多く入れて、つたえたいことをまとめている。



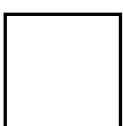
② 【店長さんの話】の A にあてはまることばを、次からえらび、番号を書きましょう。レベル7

1 お店のくふう

2 はたらく人について

3 お客さんについて

4 売り場のようす



復習シート 第四学年 国語

組

番号

名前

模範解答

国語（話すこと・聞くこと）

【発表のくふうを考える問題／話の中心をとらえる問題】

1

あおいさんのクラスではスーパーマーケットの店長さんから話を聞き、家の人に向けて発表会を行います。あおいさんのまとめた【店長さんの話】と【発表原こう】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【店長さんの話】

「人がはたらいて」と書いてあることに注目。

【発表原こう】

へ A へ

お店では、やく百三十人の人がはたらいています。品ものをならべる仕事、レジをうつ仕事、※そうざいを作る仕事など、他にもたくさんの仕事があつて、分たんしています。

へかんきよう問題への取り組みへ
お店には、リサイクルステーションをおいて、かんやペットボトル、トレーなどの回しゅうをしています。また、家から買い物ぶくろを持ってきてもらい、レジぶくろを使わないような取り組みをしています。

へ品物についてへ

お店には、いつもたくさん品物がならべてあるようにします。たくさんならべるだけでなく、いつも新せんなものをおいたり、買いやすいように小分けにしたりしています。

みなさんは、スーパーマーケットに、どんなくふうがあるか知っていますか。わたしは、社会科見学でスーパーマーケットに行き、店長さんからお話を聞きました。

お店には、毎日たくさんのおきやくさんが来ます。そのため、売場にはたくさん品物がならべられています。品物は、新せんものがならぶように気をつけているそうです。

品物をならべる他にも仕事はたくさんあつて、レジをうったり、そうざいを作ったりするそうです。

また、お店にはリサイクルステーションがあつて、空きかんやペットボトル、トレーなどを回しゅうしています。かんきようを考えて、買い物ぶくろを持ってきてもらうようにおねがいしているそうです。

スーパーマーケットには、お客さんのためにも、かんきようのためにも、いろいろなくふうがあることがわかりました。

※そうざい…ごはんなどにそえる、おかずのこと。

① 聞いている人によくつたわるように、【発表原こう】ではどのようなふうをしていますか。次からえらび、番号を書きましよう。 レベル7

1 しりようを見せて、わかりやすくつたえている。

2 店長さんの話の中からつたえたいことを一つにしぼって、くわしく書いている。

3 問いかけから始めて、聞き手のきよう味を引いている。

4 自分の感想を多く入れて、つたえたいことをまとめている。

人につたえる時には、
つたえる内ようや目的をはっきりさせたり、
しりようをもとにせつ明したり、
聞き手に合わせた言葉づかいを考えたりすることが大切です。
教科書で学習した発表のしかたを、かくにんしてみましよう。

3

② 【店長さんの話】の A にあてはまることばを、次からえらび、番号を書きましよう。 レベル7

1 お店のくふう

2 はたらく人について

3 お客さんについて

4 売り場のようす

2

「人がはたらいています。」
「仕事があつて、分たんしています。」という言葉から、
はたらく人について話している事がわかりますね。
話を聞く時は、話の中心（話し手がいちばん話したい
こと）に気をつけて聞くことが大切です。



復習シート 第四学年 国語



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

【条件に沿って理由をあげて自分の考えを書く問題】

【1】 入学したばかりの一年生にあなたの学校のおすすめの場所について、発表します。
あなたが、一年生の子たちに教えたい場所はどこですか。
あなたが教えたい場所と、その場所を教えたい理由を、次の〈注意〉をよく読んで、
書きましょう。

レベル7

〈注意〉 1 二段落で、四行以上、五行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたが一年生の子たちに教えたい場所を書くこと。

3 二段落目には、あなたがその場所を教えたい理由を書くこと。

--	--	--	--	--

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【条件に沿って理由をあげて自分の考えを書く問題】

1

入学したばかりの一年生にあなたの学校のおすすめの場所について、発表します。
あなたが、一年生の子たちに教えたい場所はどこですか。
あなたが教えたい場所と、その場所を教えたい理由を、次の〈注意〉をよく読んで、
書きましょう。

レベル7

〈注意〉 1 二段落で、四行以上、五行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたが一年生の子たちに教えたい場所を書くこと。

3 二段落目には、あなたがその場所を教えたい理由を書くこと。



わたしが、一年生に教えたい場
所は、校庭のさくら並木です。
理由は、春になると、さくらの
花が咲いて、とてもきれいだから
です。

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】

【1】 次の1～4の言葉を、国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

- 1 パック
2 はつか
3 はつねつ
4 バック

【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】

【2】 次の文の主語、述語を―線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

（1） わたしは、妹と 楽しく 公園で 遊ぶ。

主語	
述語	

（2） きのうち 動物園で きりんが 葉っぱを 食べていた。

主語	
述語	

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

【3】 次の漢字の―線部の読みがなを書き、音読みか訓読みかに答えましょう。

ア 音読み イ 訓読み

（1） 体を温めるために、部屋の温度を上げた。

読みがな	める	ア・イ

（2） 急に寒くなってきたので、上着を着た。



復習シート 第四学年 国語

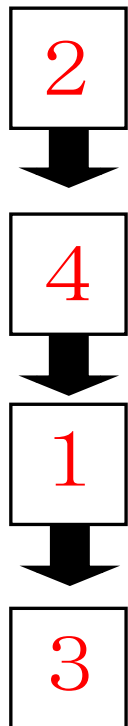


組	番号	名前
模範解答		

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】

1 次の1～4の言葉を、国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

- 1 パック
- 2 はつか
- 3 はつねつ
- 4 バック



①「は・ひ」②「ば・び」③「ぼ・び」
の順で辞典に出てきます。

【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】

2 次の文の主語、述語をー線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

(1) わたしは、妹と 楽しく 公園で 遊ぶ。

主語

1

述語

5

(2) きのう 動物園で きりんが 葉っぱを 食べていた。

主語

3

述語

5

主語は「何が」「何は」「だれが」「だれは」を見つけ、述語は「どうする」「なんだ」「どんなだ」を見つけましょう。

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

3 次の漢字のー線部の読みがなを書き、音読みか訓読みかに答えましょう。

ア 音読み イ 訓読み

(1) 体を温めるために、部屋の温度を上げた。

読みがな

あたためる

ア・イ

イ

(2) 急に寒くなってきたので、上着を着た。

ぎ

イ

「音読み」は、聞いただけでは意味のわかりにくいものが多く、「訓読み」は、聞いただけで意味の分かるものが多いです。

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【物語を読んで答える問題】

1 次の問題を解きましょう。

親子の銀ぎつねは、ほら穴から出ました。子どものほうは、お母さんのおなかの下へ入りこんで、そこから真ん丸な目をぱちぱちさせながら、あっちやこっちを見ながら歩いていきました。

やがて、ゆくてにぽつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どものきつねが見つけて、

「母ちゃん、お星様は、あんな低い所にも落ちてるのねえ。」
と聞きました。

「あれはお星様じゃないのよ。」
と言って、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは町の灯なんだよ。」
その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達と出かけていって、とんだめにあったことを思い出しました。およしなさいって言うのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、お百しように見つかつて、さんざ追いまくられて、命からがらにげたことでした。

「母ちゃん何してんの、早く行こうよ。」
と、子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのです。

一 子どものきつねは、町の灯を見て、何と間ちがえたのでしょうか。三字で書きぬきましょう。
レベル6

（出典 新美南吉 「手ぶくろを買いに」）

--	--	--

二

母さんぎつねの足がすくんでしまったのはなぜですか。もっともふさわしいものを、次の1～4の中から一つえらびましょう。

レベル7

- 1 子どものきつねが、お星様が低い所に落ちていと言ったことにおどろいたから。
- 2 あるとき、母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかってしまい、がっかりしたことを思い出したから。
- 3 あるとき、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかった、命からがらにげたことを思い出したから。
- 4 あるとき、お友達のきつねが、言うことを聞かずにあひるをぬすもうとしたことには、らが立ったことを思い出したから。



復習シート 第四学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【情報を読み取る問題】

1 次の問題を解きなさい。

親子の銀ぎつねは、ほら穴から出ました。子どものほうは、お母さんのおなかの下へ入りこんで、そこから真ん丸な目をぱちぱちさせながら、あつちやこつちを見ながら歩いてきました。

やがて、ゆくてにぽつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どものきつねが見つけて、

「母ちゃん、お星様は、あんな低い所にも落ちてるのねえ。」
と聞きました。

「あれはお星様じゃないのよ。」
と言って、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは町の灯なんだよ。」

その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達と出かけていって、とんだめにあったことを思い出しました。およしなさいって言うのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、お百しように見つかつて、さんざ追いまくられて、命からがらにげたことでした。

「母ちゃん何してんの、早く行こうよ。」

と、子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのです。

一 子どものきつねは、町の灯を見て、何と間ちがえたのでしょうか。

三字で書きぬきましょう。

レベル6

お星様

「町の灯」の前にある、「あれ」が指し示している言葉を探します。

「あれはお星様じゃないのよ。」「あれは町の灯なんだよ。」という

母ぎつねの言葉から、「お星様」が答えとなります。

二

母さんぎつねの足がすくんでしまったのはなぜですか。もっともふさわしいものを、次の1～4の中から一つえらびましょう。

レベル7

- 1 子どものきつねが、お星様が低い所に落ちていと言ったことにおどろいたから。
- 2 あるとき、母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかってしまい、がっかりしたことを思い出したから。
- 3 あるとき、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかつて、命からがらにげたことを思い出したから。
- 4 あるとき、お友達のきつねが、言うことを聞かずにあひるをぬすもうとしたことにはらが立ったことを思い出したから。

3



「足がすくむ」とは、緊張や恐怖で足がこわばって動けなくなること。母さんぎつねが町の灯を見た時に思い出したことを読み取りましょう。思い出したことは、「母さんぎつねの足はすくんでしまいました。」の後に書かれています。

- 1 は、母ぎつねが思い出したことではない。
- 2 は、「母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとした」が間ちがい。
- 3 は、正解
- 4 は、「はらが立った」わけではないので不正解。